

2018年2月20日
NTTアドバンステクノロジー株式会社

NTT-AT の「ICT-24 クラウドサービス」が、 クラウドセキュリティの国際規格「ISO/IEC 27017」の認証を取得

NTT アドバンステクノロジー株式会社(以下:NTT-AT、本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:木村丈治)は、現在提供中のクラウドサービス「ICT-24 クラウドサービス」において、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会(所在地:東京都港区、会長:牧野 力、略称:JIPDEC)による、クラウドサービスに関する情報セキュリティ管理策の国際規格である「ISO/IEC 27017:2015」の認証を、2018年2月2日付で取得しました。

2016年より開始された本認証は、ISMS (ISO/IEC 27001:2013)をベースに、クラウドサービス向けの国際規格である ISO/IEC 27017:2015 に規定されるクラウドサービスの情報セキュリティ管理策が構築・実践されていることを第三者機関が認定するものです。

企業におけるクラウドサービスの利用が増加し、またセキュリティの脅威が拡大する中、サービスを提供する事業者のセキュリティ対策状況を確認する指標が必要となってきました。

今回の認定においては、「ICT-24 クラウドサービス」がクラウドサービスプロバイダとして、またクラウドサービスカスタマとして、従来の ISMS だけではカバーされていないクラウドサービス特有の情報セキュリティ対策について、適切な管理・運用が継続的に行われていることが評価されました。

【ISO/IEC 27017:2015 認証の概要】

登録事業者	NTT アドバンステクノロジー株式会社
認証規格	ISO/IEC 27017:2015 (JIP-ISMS517-1.0)
登録日	2018年2月2日
認証機関	一般財団法人 日本品質保証機構(略称 JQA)
対象サービス	・クラウドサービスプロバイダとして提供する以下のサービス 仮想プライベートサーバ環境 「ICT-24 クラウドサービス」 ・クラウドサービスカスタマとして利用する以下のサービス WAF(Web Application Firewall)

NTT-AT は、提供中のクラウドサービスをこの基盤とあわせて提供していくことにより、より安全に、かつ効率的にご利用いただくため、情報セキュリティ管理策の整備や運用などを継続的に強化してまいります。

今後も、IaaS から SaaS クラウドサービスまで、安心・安全に利用できる環境づくりに努め、サービスのさらなる活用を促進し、クラウドサービスプロバイダとしてお客様企業と社会の発展に貢献してまいります。

【参考:「ICT-24 クラウドサービス」について】

「ICT-24 クラウドサービス」は、お客様のニーズに合わせて柔軟にカスタマイズ可能な仮想サーバを提供する IaaS 型クラウドサービスです。

3つのセールスポイント

- (1) セキュリティ対策を最優先
- (2) 運用管理も対応可能
- (3) 安心の年間一律料金

特に、セキュリティ対策の機能としては次の機能を備えております。

- ・セキュリティ対策として共用 IPS (侵入防御システム・基本的な防御) を標準装備。
- ・専用仮想アプライアンス vFW (仮想ファイアウォール) と vLB (仮想ロードバランサ) を、お客様が自由に設定可能です。また、運用は ICT-24 にお任せいただくことも可能です。
- ・標準でフェイルオーバー機能を採用し、VPS や vFW を収容中の物理サーバが故障した場合、別物理サーバで自動的に再起動します。

【本件に関するお問い合わせ先】

NTT アドバンステクノロジー株式会社
ソリューション第一事業本部
ICT-24 セキュアオペレーションセンター
TEL: 0120-057-601 (商品お問い合わせセンター)
E-mail: sales@ml.ntt-at.co.jp